

令和4年度 事業計画書

(2022年4月1日～2023年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行う。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

- ・ コレクション・データベースの精緻化と利用促進を図る。
- ・ ポスター高精細デジタル画像化は、将来的にポスターアーカイブの全作品のデータ化を目標に継続的に進める。
- ・ ポスターアーカイブは、寄贈希望のあった作家から、財団内で検討のうえ受け入れる。
- ・ 将来的にアーカイブセンターとして実現すべき機能・仕様を、ひきつづき実証・検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

令和4年度は、前年にひきつづき、コレクション・データベースのメタデータの精緻化を進める。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作の収集活動を継続する。寄贈受け入れ予定作家は、若尾真一郎氏等。

現在、国内124作家、海外120作家、計244作家、22,676作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

CCGAにて、タイラーグラフィックスのコレクションによる収蔵品展を、1回開催する。また、他館から要請があった場合は、作品貸出を行う。

(4) ポスター高精細デジタル画像化

ポスター作品の高精細デジタル画像化を、優先順位や作業負荷、コストを考慮しつつ継続する。

(5) 作品データベースの活用

文化資源デジタルアーカイブ化の動向を踏まえ、DNP文化振興財団コレクション・データベース <https://collection.dnpfcp.jp/> の精緻化と利用促進をはかる。

2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行う。必要に応じて国内外機関、個人との共同企画を行い、また、展示施設の管理運営を行う。【定款 第4条 (2)、(6)】

ギンザ・グラフィック・ギャラリー (g g g)、京都 d d d ギャラリー (d d d)、C C G A 現代グラフィックアートセンター (C C G A) の3施設で展覧会を開催する。

- ・ 3ページ記載の予定表に従って、展覧会を開催する。
- ・ ギンザ・グラフィック・ギャラリーは、企画展ごとの効果的な開催期間を検討し、計7回開催する。
- ・ 京都 d d d ギャラリーは、移転先C O C O N 烏丸の設備工事完了後の7月末に移転オープンし、計4回開催する。
- ・ C C G A 現代グラフィックアートセンターは、日本の現代版画を紹介する企画展、D N P グラフィックデザイン・アーカイブ、およびタイラーグラフィックス・アーカイブコレクション収蔵品展を、計3回開催する。

(1) d d d のC O C O N 烏丸への移転

現在京都市太秦にある京都 d d d ギャラリーを、令和4年4月から、以下の場所に移転する。

・ 移転場所

京都府京都市下京区烏丸通四条通下る水銀町620番地所在

C O C O N 烏丸 3階301区画 424.04㎡ (128.27坪)

・ 移転期間 令和4年3月1日から最低5年程度

展覧会は移転先の内装工事完了後の7月23日から開始し、令和4年度は計4回開催する。

(2) インターネットでの情報発信の強化

財団公式ウェブサイトでの通常の展覧会情報掲載に加えて、展覧会の企画内容に応じて、展覧会の魅力をより詳細に伝える特設ページを制作する。また、T w i t t e r と I n s t a g r a m のギャラリー公式アカウントでの情報発信を継続し、来場促進を図る。

・ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 387 回 TDC2022 展	4/1 (金) ~4/30 (土)
第 388 回 佐藤卓 TSDO 展 《 in LIFE 》	5/16 (月) ~6/30 (木)
第 389 回 高田唯展	7/11 (月) ~8/23 (火)
第 390 回 細谷巖展	9/1 (木) ~10/15 (土)
第 391 回 日本のアートディレクション展 2021	10/24 (月) ~11/30 (水)
第 392 回 宇野亜喜良展	12/9 (金) ~2023/1/31 (火)
第 393 回 The Posters 展 (仮)	2/9 (木) ~3/25 (土)

・京都 d d d ギャラリー展覧会事業 (移転場所にて) (予定)

企画展	会期
第 232 回 d d d 歴代ポスター展 (仮)	7/23 (土) ~9/25 (日)
第 233 回 Form SWISS 展 (仮)	10/5 (水) ~11/20 (日)
第 234 回 DGA 所蔵演劇ポスター展 (仮)	11/29 (火) ~2023/1/15 (日)
第 235 回 グルーヴィジョンズ展 (仮)	1/24 (火) ~3/12 (日)

・CCGA 現代グラフィックアートセンター展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 86 回 DGA コレクション展 葛西薫 POSTERS since 1973	3/1 (火) ~6/12 (日)
第 87 回 版画企画展 ピュシス銅版画展 —写すものと映されるもの	6/18 (土) ~9/4 (日)
第 88 回 タイラーグラフィックス・ アーカイブコレクション展 Vol.35	9/10 (土) ~12/18 (日)

g g g、d d d は入場無料とする。CCGA の入場料は、有料 (一般 300 円、学生 200 円) とする。但し、次の方々は無料とする。—小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者 (教員、学生) の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者

3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物発行やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】グラフィックに関する知識・関心を、一般の方々に広げることがを目的に、講演会、対談、ワークショップ、図書等の刊行、インターネットを通じた情報提供を行う。

- ・ g g g B o o k s 1点、その他図録2点を発行予定。アニュアルレポートは8月に発行予定とする。g g g B o o k s は電子書籍版の発行も継続する。
- ・ SNS (T w i t t e r、I n s t a g r a m) 公式アカウントでの情報発信を継続する。
- ・ 新型コロナの状況を考慮しながら、可能であればリアルでのギャラリートーク・講演会を再開する。
- ・ C C G Aでは、新型コロナの状況を考慮しつつ、可能であれば版画工房でワークショップ、及び一般開放を実施する。

・ 図書の刊行

展覧会と連動して、作品集『g g g B o o k s』1点（発行予定作家：高田唯）を発行する。

プリモアート（高精細プリント技法）による展覧会図録を2点（発行予定作家：細谷巖、宇野亜喜良）発行する。

・ アニュアルレポート発行

『Graphic Art & Design Annual 2021』を8月に発行する。あわせて次年度刊行予定の2022年版の企画・編集を開始する。

・ ギャラリートーク

新型コロナの状況が許せば、g g gでリアルでのギャラリートーク・講演会を再開する。なお、Y o u T u b e財団公式チャンネルでのギャラリートーク等の動画配信は引き続き行う。

・ オンラインを活用した情報発信

Y o u T u b e財団公式チャンネルのオリジナル・コンテンツとして前年度から開始した、注目のクリエイターによる対談の音声番組シリーズ配信を継続する。

・ ホームページ

財団ホームページを設置しているレンタル・サーバ基本ソフトのバージョンアップに伴い、ホームページのプログラムの更新し、一部機能の追加、見直しを行う。

・ 版画工房ワークショップ

CCGA版画工房ワークショップを、5月および7月に開催予定。

4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款第4条(5)】

- ・ 国際交流基金に協力し、同基金拠点にてスポーツポスター展巡回を継続。
- ・ 国際交流基金ローマ日本文化会館との共催で、ローマの同基金拠点で財団の企画による日本ポスター展「動物会議」展を開催する。
- ・ デザイナーの国際組織である国際グラフィック連盟（AGI）日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を行う。

・ 「動物会議」展

国際交流基金ローマ日本文化会館との共催で、同会館を会場に、5月20日～7月29日の会期で、動物をモチーフにした23名の日本の現代ポスター96点による展覧会を開催する。

・ 「SPORTS GRAPHIC」展

国際交流基金に協力して、スポーツに関連した日本の現代ポスターの巡回展を各地で開催中。昨年7月にロンドンの日本大使館、10月に国際交流基金シドニー日本文化センターで開催したが、令和4年度は、9月にパリ日本文化会館、11月に国際交流基金トロントに巡回予定。

・ AGI総会

例年9月に開催されているAGI総会は、新型コロナの影響で令和4年度の開催が未定だが、3年ぶりに開催の場合は、日本人会員事務局として財団職員を派遣する。

この他、世界各国作家との交流、およびグラフィックデザイン界の情報収集を引き続き行う。

5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条 (7)】

- ・グラフィック文化に関する学術研究助成を行う。
- ・CCGAが立地する福島県須賀川市で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対し、従来から行ってきた協賛を継続する。

・グラフィック文化に関する学術研究助成

募集テーマ：

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間：令和4年4月1日～6月17日まで

助成対象：研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

選考： 一次審査（申請書類による書類審査）、二次審査（9月開催予定の審査委員会）により、令和4年度採択研究を10件程度選考する。また、令和3年度採択研究のうち継続助成を希望する研究についても、継続助成の可否を審査（書類審査）する。

スケジュール：

- 4月 募集開始
- 6月 応募締め切り
- 7～8月 一次審査
- 9月 二次審査
- 10月 令和4年度審査結果発表
- 12月 継続助成審査・助成金交付

・福島県須賀川市で開催される文化事業への協賛（予定）

	対象	主催	年月	金額	備考
1	須賀川地区高等学校美術部研修会への助成	須賀川地区高等学校美術部連盟	2022/12	60,000円	継続
2	第33回田善顕彰版画展へ協賛	須賀川商工会議所青年部	2023/2	50,000円	須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。

以上